



目 次

1. 平成7年12月からの計算サービス時間のお知らせ	2
2. 計算化学講習会のお知らせ	3
3. 公用データベース「昆虫学データベース(KONCHU)」の新ファイルの公開 ..	3
4. 年末年始のプログラム相談について	4
*** 新汎用機システム関連 ***	
5. 端末サーバのテスト運用について	4
6. 汎用コンピュータの制限値の変更について	6
7. ライブラリサーバのサービス開始について	7
8. 画像処理用ワークステーションのサービス開始について	8
9. カラーグラフィックスワークステーションのサービス開始について	9
10. プリンタの出力方法の変更について	10
11. XYプロッタ装置の廃止による図形出力の代替方法について	12
12. カット紙ラインプリンタ装置(CLP)の廃止による図形出力の代替方法 について	13
13. MSPの電子ニュースサービスの廃止について	14

1. 平成7年12月からの計算サービス時間のお知らせ

平成7年12月1日から平成8年2月29日までの計算サービス時間は下記のとおりです。

なお、クローズLP出力は、2階オープン室等の改修工事のためサービスを行っていませんので、オープン機器のLPをご利用ください。利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますがご了承ください。

計算サービス時間

システム利用	サービス時間	各種保守作業による停止時間
MSP UXP	原則通年24時間 ただし、右欄保守作業の停止時間を除く	◇定期保守 毎週水曜日 5時～12時30分 ◇空調機保守 第1,3日曜日 7時30分～18時

センター内利用	曜日	開始時刻	終了時刻
		通年	12月～2月
オープン利用機器	月～火	9:00	23:00
	水	12:30	
	木～金	9:00	

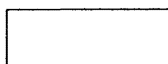
- 備考
- 毎週水曜日は、計算機システムの保守のため12時30分から計算サービスを開始します。
 - 16時45分以降（月～金）と土曜日及び日曜祝日は、無人運転を行っており、システム障害が発生した場合は、約20分後に自動的に計算サービスを再開します。
ただし、30分経過後に再開できない場合は、計算サービスを打切らせていただきます。
 - 臨時の停止を行う場合は、その都度センターニュース等でお知らせします。

サービス時間表

曜日	時間帯			
	5:00	9:00	12:30	23:00
月曜日 火曜日	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能
水曜日	利用可能	定期保守	利用可能	利用可能
木曜日 金曜日	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能
土曜日 日曜日	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能

ただし、第1,3日曜日は空調機保守のため下記のとおりです。

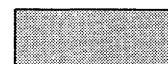
日曜日	7:30	18:00
	利用可能	空調機保守



利用可能



センター外からの
利用のみ可能



定期保守等で
利用不可

(システム運用掛 内線2517)

2. 計算化学講習会のお知らせ

標記講習会を下記の要領で開催します。希望者は、共同利用掛(内線 2532)にお申し込みください。

記

- ・日時 12月13日(水), 14日(木) 10時～17時
- ・受付時間 9時30分～9時50分(13日のみ)
- ・対象 計算化学的手法の化学への応用に興味のあるセンター利用者
- ・募集人員 30名程度
- ・内容 Sun ワークステーションと分子モデリングソフト Anchor を用いて、計算化学的手法をどのように応用するかについて、講義と実習とにより理解する。実際には PM3 法による分子構造の最適化、振動解析、反応解析、フロンティア軌道理論を解説する
- ・会場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・講師 九州大学有機化学基礎研究センター 堀 憲次
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割 10:00～12:00: 講義
12:00～13:30: 昼休み
13:30～17:00: 講義および実習
(13,14日とも)
- ・申込期間 12月4日(月)～8日(金)
(募集定員に達し次第締め切ります。なお、同一研究室からの4人以上の申し込みはご遠慮ください)

3. 公用データベース「昆虫学データベース (KONCHU)」の新ファイルの公開

公用データベース「昆虫学データベース(KONCHU)」は、昆虫の種名等の分類単位をレコード単位とした文献データベースで、学術雑誌ごとに1つのファイルを形成しています。今回、下記の「SHIKOKU」ファイルを公開いたします。データベース管理システム SIGMA で検索が可能です。

「SHIKOKU」ファイル

Transactions of the Shikoku Entomology Society (四国昆虫学会会報)

検索ファイル名: S. A71414B. SHIKOKU (PROFILE コマンドの PREFIX サブコマンドで A71414B を指定した場合は, S. SHIKOKU)

レコード数: 6,341件

1レコードの項目数: 13

参考文献

1. 多田内修: 「SIGMA による公用データベース昆虫学データベース (KONCHU) の公開とその利用法」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 20, No. 6, 昭和62年11月.
2. 有川節夫他: 「テキストデータベース管理システム SIGMA 第2版について」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 20, No. 6, 昭和62年11月.

(データベース室 内線2510)

4. 年末年始のプログラム相談について

下記のとおりプログラム相談を一時停止しますのでお知らせします。
なお、平成8年1月8日（月）から通常どおりプログラム相談を開始します。

記

平成 7 年 1 2 月 2 5 日（月）～平成 8 年 1 月 5 日（金）

（共同利用掛 内線 2 5 3 2）

5. 端末サーバのテスト運用について

1996年1月8日より新汎用機が稼働し、UXP（ホスト名 kyu-cc. cc. kyushu-u. ac. jp, IP アドレス 133.5.9.1）の交換回線経由のアクセスが端末サーバ経由に変更になります。これに先立ち12月1日より12月末まで端末サーバのテスト運用を行います。この端末サーバは無手順による接続に加え、PPP(Point to Point Protocol)によるダイヤルアップIPの接続も可能です。

- ・ログイン名とパスワード

UXPと同じログイン名とパスワードです。

- ・課金

テスト期間中は無料です。1996年1月からは1分につき0.5円の利用負担金がUXPで徴収されます。

- ・ホームディレクトリ、ファイル

利用者毎にホームディレクトリを用意します。但し、ディスク容量が十分ありませんので基本的には一時ファイル以外は作成しないでください。なお、作成されて3日以上経過したファイルは消去されます。

- ・アクセス電話番号

テスト運用期間中は以下の通りですが、1996年1月8日からは変更されますのでご注意ください。

・V.34(28.8Kbps) 092-631-1839

・ISDN(19.2Kbps), V.32bis(14.4Kbps) 092-642-1053

(1) 交換回線からUXPへの接続

端末サーバに電話して接続し、ログイン名およびパスワードを入力し、ログインします。更に、telnet 等で kyu-cc にログインします。

使用例

```
atdp6311839  
CONNECT 28800/LAPM-V
```

```
tserver login:a79999a  
Password:xxxx
```

```
Last login: Tue Nov 7 19:19:47 on ttyb
SunOS Release 4.1.4-JLE1.1.4 (HSIS) #2: Tue Nov 7 15:29:46 JST 1995
**** statistics and charges ( a79999a ) ****
**      total size of reserved files   =      74 KB      **
**      total charge                    =    21212 yen    **
**      budget was exhausted !!  budget =    20000 yen    **
*****
%telnet kyu-cc
Trying 133.5.9.1 ...
Connected to kyu-cc.
Escape character is '^['.
```

```
UXP/M TELNET (kyu-cc)
login: a79999a
Password: xxxx
Fujitsu UXP/M (kyu-cc)
Copyright (c) 1984, 1986, 1987, 1988 AT&T
Copyright (c) 1990, UNIX System Laboratories, Inc.
Copyright (c) 1991, 1992, 1993 FUJITSU LIMITED
All Rights Reserved
Last login: Tue Nov 14 23:08:15 on tae.cc.kyushu-u
**** statistics and charges ( a79999a ) ****
**      total size of reserved files   =      66 KB      **
**      total charge                    =    15000 yen    **
**      budget was exhausted !!  budget =    10000 yen    **
*****
*** announce ***
      Next maintenance time: 5:00 - 12:30 on Nov.22
Terminal Type:vt100
%exit
Connection closed by foreign host.
% exit
% logout
NO CARRIER
```

なお、kyu-cc とパソコン間でファイル転送を行う場合には、パソコンと端末サーバの間では Kermit や Xmodem で転送を行い、端末サーバと kyu-cc の間では ftp で転送を行ってください。

(2) PPPによるダイヤルアップIP接続

パソコンと端末サーバを一時的にIP接続しパソコンからUXP等に直接 telnet, ftp が利用できます。利用するためには以下の設定が必要です。

1) 端末サーバでのPPPユーザの登録

端末サーバにログインして、pppreg コマンドを入力して、PPPユーザを登録します。

```
% pppreg
OK. PPP login name=a79999ap
```

ログイン名が a79999a である場合は、PPP での接続時のログイン名は a79999ap になります。パスワードは a79999a と同じです。

2) パソコン側の設定

パソコン側で PPP での接続時のログイン名とパスワードの設定を行います。また、必要があれば電話番号、使用漢字コード(EUC)登録等を行います。PAP, CHAP による接続は行わないように設定してください。ネームサーバとしてIPアドレス 133.5.8.16(端末サーバ)を設定します。

以上の1), 2)の設定は一度行えば次回から必要ありません。

3) パソコンから端末サーバへの接続

MSDOS もしくは windows から端末サーバへPPPログイン名で接続・ログインします。IPアドレスは端末サーバから一時的にパソコンに割り当てられます。

4) telnet, ftp 等のTCP/IPアプリケーションを利用して kyu-cc に接続して利用してください。

5) PPP接続を解除します(電話回線を切断する)。

使用例(アライドテレシス社のPCTCPを用いた例)

1) パソコンと端末サーバを接続する

```
ppp -b 19200 -m  
pppdrv  
up.bat
```

2) パソコンからU X Pにtelnetで接続する

```
vtn kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp
```

3) パソコンと端末サーバの接続を切断する

```
down.bat
```

(3) テスト運用期間中の留意事項

1) 保守のため必要に応じて端末サーバを停止する事があります。

2) モデム, ISDN TA の購入の際は受けの機材との相性の問題もありえますので担当掛とご相談ください。

3) 端末サーバのテスト運用に関して不都合な点があれば以下の宛先にお知らせください。

```
ppp-report@cc.kyushu-u.ac.jp
```

(ネットワーク掛 内線2543)

6. 汎用コンピュータの制限値の変更について

汎用コンピュータの更新に伴い制限値が1月8日から変更になります。

変更内容は以下のとおりです。

- ・ X Yプロッタ制限値の削除
- ・ ジョブクラスL (MTジョブ CLOSED STATION) の廃止
- ・ S S Uサービスの廃止
- ・ V U (ベクトル機構) サービスの開始
- ・ C P U時間の優先処理の廃止
- ・ リージョンサイズの変更

M-1800/20U ジョブクラスと制限値

適用ジョブ	ジョブクラス	CPU時間	ファイアアクセス	最大ジョインズ	端末接続	ラインプリンタ		図形文字パターン数			
						出力枚数	出力行数				
バッチジョブ	標準ジョブ	A	分 10	万回 20	-	枚	行	パターン			
		B	180	50							
	MTジョブ	N	10	20					600	36,000	100,000
	大型ジョブ	F	180	50					200		
TSSジョブ	標準	60	制限	10	1435						
	大型		なし	50							

M-1800/20U キューの制限値

適用ジョブ	キュー	CPU時間	リージョン
バッチジョブ	ss	180分	100MB
TSSジョブ vu演算		60分	100MB

(システム管理掛 内線2518)

7. ライブラリサーバのサービス開始について

1月8日からライブラリサーバ (FUJITSU S-4/1000E) wisdom のサービスを開始します。
このライブラリサーバには AVS などを導入し、24時間稼働でサービスします。ご利用ください。

- ・利用時間帯 24時間利用できます。
- ・利用資格 MSP, UXP に登録が必要です。
UXP への利用登録は MSP の SINSEI コマンドで行います。
wisdom への利用登録は UXP の利用登録に連動して登録されます。
なお、既に UXP に登録されている方の wisdom への新規登録は必要ありません。

- ・利用負担金 演算時間 1 秒につき 0.5 円の利用負担金が UXP で徴収されます。
- ・利用環境 利用者のホームディレクトリは /home/user/login名 となります。
また、 UXP の共用ボリューム(/home/usr0~usrc)を /home/KYU-CC 配下に nfs した後、各利用者のホームディレクトリを wisdom のホームディレクトリ配下の KYU-CC というディレクトリにリンクしますので wisdom 上で UXP 上のファイルをアクセスできます。ただし、 UXP が停止中（定期保守など）はアクセスできません。
nfs はネットワークを介してのアクセスになりますので通常よりもファイルアクセスの速度は遅くなります。
なお、シンボリックリンクを行っていただきますので KYU-CC ディレクトリ以下に移動してから相対パスで wisdom 上のファイルを指すことはできません。
例えば、 /home/user/a79999a/KYU-CC に居るときに /home/user/a79999a/dir1/test.c というファイルを指す場合に ../dir1/test.c という表現では /home/KYU-CC/dir1/test.c を指してしまいますので、 /dir1/test.c という表現を使うか、絶対パスを指定して下さい。
- ・アプリケーション Fortran, C, C++, AVS, sunPHIGS, etc.
- ・IPアドレス 133.5.9.9 (wisdom.cc.kyushu-u.ac.jp)

(システム管理掛 内線 2518)

8. 画像処理用ワークステーションのサービス開始について

1月8日から画像処理用ワークステーション qgas に加え qgas-o2 (S-4/20Hzモデル125 + AG-1600) のサービスを開始します。また、画像処理用ワークステーションが2台になりましたので今までの qgas は qgas-01 にホスト名を変更します。

- ・設置場所 2階ワークステーション室（旧デバッグ室）です。
- ・利用形態 予約（1回4時間まで）が必要です。
使用する前に2階受付の予約表に記入してください。
- ・利用時間帯 9時（水曜日は12時30分）からオープン利用機器のサービス終了まで使用できます。
- ・利用資格 MSP , UXP 及び qgas に登録が必要です。
UXP への利用登録は MSP の SINSEI コマンドで行います。
qgas への利用登録は UXP の touroku コマンドを以下のように実行することにより即時に行われます。

```
kyu-cc% touroku qgas
```

qgas のユーザ名及びパスワードは touroku コマンドを実行した時点での UXP のものと同じです。

qgas の利用登録で qgas-01, qgas-02 に登録しますので利用登録は1回で結構です。しかし、パスワードの変更は passwd コマンドを実行したワークステーションのみ有効ですので注意願います。なお、2台のワークステーションを同様に使用するために同時に2台ともパスワードの変更をすることをお勧めします。

- ・利用負担金 使用時間1分につき3円の利用負担金が UXP で徴収されます。
- ・利用環境 利用者のホームディレクトリは本センターニュースの別項で述べるライブラリサーバ (wisdom)のホームディレクトリを nfs マウントで共用します。
また、 UXP の共用ボリューム(/home/usr0~usr9)を /home/KYU-CC 配下に nfs した後、各利用者のホームディレクトリを qgas-01 (または qgas-02)のホームディレクトリ配下の KYU-CC というディレクトリにリンクしますので qgas-01 (または qgas-02)上で UXP 上のファイルをアクセスできます。
nfs はネットワークを介してのアクセスになりますので通常よりもファイルアクセスの速度は遅くなります。
なお、シンボリックリンクを行っていますので KYU-CC ディレクトリ以下に移動してから相対パスで qgas-01 (または qgas-02) 上のファイルを指すことはできません。
- ・制限事項 このワークステーションはコンソールからの利用のみで他のホストから rlogin , telnet 等で login することはできません。
- ・注意事項 1月8日以前の qgas ユーザは、1月8日以降に qgas の利用登録とファイルの移行をお願いします。なお、現在のホームディレクトリは /home2/users/ユーザid です。移行期間は3月末日までで4月に /home2/users/ユーザid は抹消します。
- ・利用方法 詳しくは、ワークステーション横の手引書を参照ください。

(システム管理掛 内線2518)

9. カラーグラフィックスワークステーションのサービス開始について

1月8日からカラーグラフィックスワークステーション (FUJITSU S-4/20Hモデル125) gws-01, gws-02 2台のサービスを開始します。ご利用ください。

- ・設置場所 2階ワークステーション室 (旧デバッグ室) です。
- ・利用形態 予約 (1回4時間まで) が必要です。
使用する前に2階受付の予約表に記入してください。
- ・利用時間帯 9時 (水曜日は12時30分) からオープン室サービス終了まで使用できます。
- ・利用資格 MSP , UXP および gws に登録が必要です。
UXP への利用登録は MSP の SINSEI コマンドで行います。
gws への利用登録は UXP の touroku コマンドを以下のように実行することにより即時に行われます。

```
kyu-cc% touroku gws
```

gws のユーザ名及びパスワードは touroku コマンドを実行した時点での UXP のものと同じです。

gws の利用登録で gws-01, gws-02 に登録しますので利用登録は1回で結構です。しかし、パスワードの変更は passwd コマンドを実行したワークステーションのみ有効ですので注意願います。なお、2台のワークステーションを同様に使用するために同時に2台ともパスワードの変更をすることをお勧めします。

- ・利用負担金 使用時間1分につき3円の利用負担金が UXP で徴収されます。

- ・利用環境 利用者のホームディレクトリは本センターニュースの別項で述べるライブラリサーバ (wisdom) のホームディレクトリを nfs マウントで共用します。
また、UXP の共用ボリューム (/home/usr0~usrc) を /home/KYU-CC 配下に nfs した後、各利用者のホームディレクトリを gws-01 (または gws-02) のホームディレクトリ配下の KYU-CC というディレクトリにリンクしますので gws-01 (または gws-02) 上で UXP 上のファイルをアクセスできます。
nfs はネットワークを介してのアクセスになりますので通常よりもファイルアクセスの速度は遅くなります。
なお、シンボリックリンクを行っているので KYU-CC ディレクトリ以下に移動してから相対パスで gws-01 (または gws-02) 上のファイルを指すことはできません。
- ・制限事項 このワークステーションは、コンソールからの利用のみで他のホストから rlogin, telnet 等で login することはできません。
- ・アプリケーション α-FLOW, MASP HYC
- ・利用方法 詳しくは、ワークステーション横の手引書を参照ください。

(システム管理掛 内線 2518)

10. プリンタの出力方法の変更について

汎用コンピュータの更新に伴い出力サービスを1月8日から以下のように変更します。

利用できる機器

- ・ A4版NLP 及び B4版NLP
 設置場所 : 2階オープン機器室
 文字セット : 英小文字 (半角カナの出力方法は後述する)
 出力方法 : 装置横のコンソールから出力要求を行います。
 出力先は、出力要求時にパラメータを指定により、選択できます。
 OS : NLP装置は当面の間MSP専用となります。

・新ポストスクリプトプリンタ

- 設置場所 : 2階オープン機器室
- 用紙 : A4及びB4
- 出力方法 : 従来通り lp コマンドにより出力します。
 詳しくは、次回のセンターニュースをご覧ください。
- OS : ポストスクリプトプリンタは unix 専用となります。

廃止となる機器

- ・クローズNLP各種
- ・カット紙ラインプリンタ
- ・ポストスクリプトプリンタ

以上の変更によりプリンタ出力の方法が以下のように変更されます。

- ・クローズ出力ができなくなりますので、出力クラスは U を指定してください。

今後、NLPへの出力は全て出力待ちとなりますのでジョブ数オーバー（20件）に注意してください。

- 出力クラス K で、半角カナをご利用の方は UCS オプションを指定して文字セットを選択してください。（表2参照）

例

バッチの場合 //SYSPRINT DD SYSOUT=U,UCS=KA10 ... B4 の例, A4 は KA15を指定する。

TSSの場合 LPALLOC F(FT06F001) SY(U) UCS(KA10)

- 連絡所送りのNLP出力は、B4のみとなります。
- UXPの出力に関しては、従来のポストスクリプトプリンタに代わり、高速・高機能なポストスクリプトプリンタを導入しますので、ご利用ください。
また、NLPは当面MSP専用となりますのでUXPから直接NLPに出力はできなくなります。
utoprint を利用してください。

例： kyu-cc% utoprint file-name

詳しくは、センターニュース No.470 をご覧ください。

表1. NLPの装置仕様

項目		A4版NLP	B4版NLP
用紙の大きさ		縦： 8.5インチ 横： 12インチ	縦： 11インチ 横： 14インチ
1インチ当たりの文字数 (CPI)		10文字 (10CPI) 12 (12CPI) 15 (15CPI)	
1分当たりの 出力行数	6LPI 8LPI 12LPI	2,100行/分 2,670行/分 4,000行/分	
図形, イメージ		出力可	
漢字		出力可	

表2. 文字セットとUCS

UCS名	文字の大きさ (CPI)	文字数/行		文字セット
		A4版	B4版	
KA10 KA12 KA15	10 12 15	108 128 161	136 163 204	ゴシック型・カナ文字
LC10 LC12 LC15	10 12 15	108 128 161	136 163 204	ゴシック型・英小文字
AS10 AS12 AS15	10 12 15	108 128 161	136 163 204	ゴシック型・US-ASCII
EL12 EL15	12 15	128 161	163 204	エリート型・英小文字

表3. FCBと出力行数

装置	FCB名	LPI	印字可能行数
B4NLP	B406	6	62行/頁
	B408	8	84
	B412	12	124
A4NLP	A406	6	47
	A408	8	64
	A412	12	96

表4. 文字の組み合わせ

文字の種類	文字の大きさ	6LPI	8LPI	12LPI
英数字 カナ文字	10CPI	出力可	出力可	出力不可
	12CPI			出力不可
	15CPI			出力可
漢字	12ポ (5CPI)	出力可	出力不可	出力不可
	9ポ (8CPI)		出力可	
	7ポ (10CPI)		出力可	

(システム管理掛 内線 2518)

11. XYプロッタ装置の廃止による図形出力の代替方法について

汎用コンピュータの更新に伴いXYプロッタ装置を撤去します。従来、PKS(PSP, HCBSを含む)の作図ライブラリを利用してXYプロッタ装置に図形出力を行っていた利用者は、以下の使用例を参考にNLPへの出力に切り替えてご利用ください。詳細は、参考文献を参照してください。

使用例

[TSSの場合]

(旧) XYプロッタに出力する

```
READY
PKS PKS.FORT GOUT(XYPLOT) PSP*1
```

(新) NLPに出力する

```
READY
PKS PKS.FORT PSP*1
```

[バッチの場合]

(旧) XYプロッタに出力する

```
//A79999A1 JOB CLASS=A
// EXEC PKS,STEP=CLG,PKSOPT='PKS(PSP*1)'
//FORT.SYSIN DD DSN=A79999A.PKS.FORT,DISP=SHR
//GO.SYSIN DD DSN=A79999A.PKS.DATA,DISP=SHR
//GO.FT16F001 DD SYSOUT=(Q,KNGWTR)
//
```

(新) NLPに出力する

```
→PKSOPT='PKS(PSP*1,NLP,NOBUF)'
→SYSOUT=(U,KNGWTR)
```

*1: PSPはPKSのPSP互換モードで実行する時に指定する。

参考文献

[1] 垣内良子他: 「PKSの利用法」, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 26, No. 6, 1993.

(システム管理掛 内線 2518)

12. カット紙ラインプリンタ装置 (CLP) の廃止による図形出力の代替方法について

汎用コンピュータの更新に伴い CLP を撤去します。従来、PKS や GRAPHMAN などで CLP に図形出力を行っていた利用者は、以下の使用例を参考に NLPへの出力に切り替えてご利用ください。詳細、及び、その他のソフトウェアについては参考文献を参照してください。

PKSの使用例

[TSSの場合]

```
READY
PKS PKS.FORT PSP*1
```

[バッチの場合]

```
//A79999A1 JOB CLASS=A
// EXEC PKS, STEP=CLG, PKSOPT='PKS(PSP*1, NLP, NOBUF)*'
//FORT. SYSIN DD DSN=A79999A. PKS. FORT, DISP=SHR
//GO. SYSIN DD DSN=A79999A. PKS. DATA, DISP=SHR
//GO. FT16F001 DD SYSOUT=(U, KNGWTR)
//
```

*1 : pspはPKSのPSP互換モードで実行する時に指定する。

GRAPHMANの使用例

[TSSの場合]

```
READY
GRAPHMAN
GRAPHMAN START
* PICTURE TOUROKU SUBROUTINE LIBRARY = APP1. PICLIB *

=== FOLLOWING DEVICES ARE SUPPORTED NOW. ===
1 NON GRAPHIC DISPLAY (CHARACTER DISPLAY)
:
6 NLP
:
9 A4 SIZE NLP
:
PLEASE SELECT DEVICE NUMBER ==> 6 (または 9)
> PDB 'LIB. SAMPLE. GRAPHMAN'
> USE CONT2N
> DISPLAY BIRD
> ENDG
```

[バッチの場合]

```
//A79999A1 JOB CLASS=A
// EXEC GRAPHMAN, SY=U
//SYSIN DD *
6 (または 9)
PDB 'LIB. SAMPLE. GRAPHMAN'
USE CONT2N
DISPLAY BIRD
ENDG
//
```

参考文献

- [1]垣内良子他：「PKSの利用法」，九州大学大型計算機センター広報，Vol. 26, No. 6, 1993.
- [2]橋倉聡他：「グラフィックツールによる図形出力ガイド」，九州大学大型計算機センター広報，Vol. 23, No. 4, 1990.

(システム管理掛 内線2518)

13. MSPの電子ニュースサービスの廃止について

平成7年12月末日をもって、MSPの電子ニュースサービスを廃止します。これは、平成8年1月から導入する新汎用コンピュータシステムのディスク（ニュースプール用）の有効利用を目的に、MSPの電子ニュースサービスを廃止し、大型計算機センターのニュースサービスをUXPに一本化するものです。今後は、UXPのmnewsコマンドをご利用になるか、パソコンから直接ニュースが購読できるNNTPクライアント（NewsWatcher, WinVNなど）をご利用下さい。

（ネットワーク掛 内線2542）